



2025年9月12日

各 位

会社名 株式会社関通
 代表者名 代表取締役社長 達城 久裕
 (コード番号 : 9326 東証グロース)
 問合せ先 取締役副社長 達城 利卓
 電話番号 0800-555-0500

2026年2月期 第2四半期(累計)連結業績予想の修正 及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年4月11日付「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました2026年2月期の第2四半期(累計)連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせ申し上げます。

また、あわせて2026年2月期第2四半期において、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2026年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2025年3月1日～2025年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,644	△103	△104	△75	△7.44
今回修正予想(B)	8,660	72	52	62	6.23
増減額(B-A)	1,016	176	156	137	—
増減率(%)	13.3	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期連結実績 (2025年2月期第2四半期)	7,579	99	78	49	4.98

※増減率については、前回発表予想がそれぞれ営業損失・経常損失・親会社に帰属する中間純損失であったため記載しておりません

2. 修正の理由

2025年4月11日に公表いたしました「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載いたしました業績予想に対して、第2四半期(累計)連結業績は売上高・営業利益・経常利益・親会社に帰属する中間純利益とも順調に推移し上方修正となりました。

[売上高]

物流サービス事業において既存のお客様からの受託が大幅に増加したこと、及びITオートメーション事業において自社在庫管理システム(WMS)であるクラウドトーマスを、新たに大手のお客様との大規模受託を締結したことにより、当初の想定以上に売上高は伸長しました。この結果、前回発表の予想より1,016百万円のプラスとなりました。

[営業利益][経常利益]

営業利益は計画段階でサイバー攻撃の影響が残る想定で一定の損失を見込んでいましたが、売上高の伸長の影響も含めて、売上総利益が180百万円、計画を上回る形で推移しました。これは、回復に向けた取り組みが着実に成果を上げている結果といえると考えており、この影響で営業利益は黒字化いたしました。

経常利益も同等の理由にて黒字に転じております。

[親会社株主に帰属する中間純利益]

3に記載している内容により、親会社株主に帰属する中間純利益は137百万円となる見込です。

なお、2026年2月期の通期業績予想につきましては、中間期の実績は順調に推移しておりますが、下期は事業計画における利益貢献の比重が大きいため、全体への影響を慎重に見極めている段階です。

当社としましては、この好調な勢いを下期も継続できるよう、計画達成に向けて尽力してまいります。今後、開示が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

3. 特別利益・特別損失の計上について

当社は2024年9月に受けたサイバー攻撃による被害に関する費用は基本的に2025年2月期に計上を完了しておりますが、お客様の被害に対する損害賠償への保険金による対応は継続しております。

今第2四半期では、以下の通り計上しております。

特別利益：受取保険金 380,529千円

特別損失：損害賠償金 323,273千円

なお、お客様への損害賠償およびそれに対する保険金の受取は、第3四半期以降も発生する見込みです。これらの金額につきましても、確定次第速やかに開示いたします。

以上

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。